

■果樹苗木の植え付け

植え付け時期

・苗木の植え付けには**秋植え**（11月下旬～12月中旬）と**春植え**（3月上旬～4月下旬）があります。「秋植え」は活着が良く生育良好ですが、野ネズミによる食害を防ぐため地際部に金網を巻きつける等、対策が必要です。「春植え」は乾燥しやすい時期のため、植え付け前に十分に吸水させて、消雪後早めに植え付ける必要があります。

植え付け方法

- ① 植穴は直径約80cm、深さ約50cm～70cm掘ります。表土、心土、完熟たい肥、適量の熔リン、石灰をよく混ぜて埋め戻し、植え付けに備えましょう。
- ② 定植前に、苗木の根水を十分に吸水させて下さい。（12時間程度）その後、すぐに定植します。定植がすぐにできない場合も、十分に吸水させてから一時的に仮植えします。根風に当たることや直射日光に当たるとは乾燥し、枯死の原因となりますので、絶対に避けて下さい。
- ③ 接木部分にビニールテープが巻かれている場合は取り除いて下さい。根の先端に枯死した箇所があれば鋭利なハサミで切返し、根水をトップジンM水和剤500倍、又はベンレート水和剤1,000倍液に10分間浸漬します。（薬剤の適用については、下記の表をご参照下さい。）

トップジン M 水和剤

作物名	適応病害名	希釈倍数	使用回数	使用方法
なし（苗木）	白紋羽病	500倍	1回	10分間根部浸漬
もも（苗木）	白紋羽病	500倍	1回	10分間根部浸漬
りんご（苗木）	白紋羽病	500倍	1回	10分間根部浸漬

ベンレート水和剤

作物名	適応病害名	希釈倍数	使用回数	使用方法
りんご（苗木）	白紋羽病	1,000倍	—	10～30分間根部浸漬

- ④ 植え付けは根を放射状に広げ、それぞれの根に細かい土が密着するように丁寧に土をかけましょう。土をかけた後苗木を持ち上げるようにしながら足で軽く踏みつけ、多量のかん水を行って下さい。
- ⑤ 植え付けの深さは、接木部を地表面より高くして、沈降しても地表面下にならないようにしましょう。苗木の地上部を切りつめる長さは、樹種や整枝法によって異なりますが、通常は下記の「別表」を参考に長さの良い芽の上で切り、切り口には癒合剤等を塗ります。
- ⑥ 植え付けが完了したら支柱を立て、春期に敷きワラを行って乾燥防止と雑草の発生を抑えましょう。

【別表】

種類	規格等級	地上部の苗木の長さ	地上に出す台木の長さ
りんご (丸葉台)	1年特等苗	約70～90cm	約1cm
りんご (わい性台)	1年特等苗	約90～110cm	約15～20cm
もも ネクタリン	1年特等苗	約50～70cm	約1cm
さくらんぼ	1年特等苗	約70～90cm	青葉台は約1cm コルト台は約15cm
なし	1年特等苗	約80～100cm	約1cm
ぶどう	1年特等苗	約20～40cm	約10～15cm

※植え付けのコツは、十分吸水させて、乾燥させないこと！！

植え付け後

・植え付け後に雨のない時は、十分なかん水を行い、病害虫の初期防除に努めて下さい。また、植え付け直後の多量の施肥は、根をいためて活着を悪くすることがありますので、芽出し1か月後から化学肥料を少量（1本当たり一握り）ずつ数回に分けて施しましょう。